

一人ひとりに
寄り添う政治を。

そ世
だ田
ち谷

世田谷区議会議員

無所属

つるみけんご

通信
Vol.24

世田谷から未来を変える。

特定の団体や企業のためではなく、しがらみのない立場で、本当に困っている人の声を受け止められる”一人ひとりに寄り添う政治”の実現を目指して「つるみけんご」は、活動を続けます。

つるみけんご

鶴見健悟プロフィール

- 1986年（昭和61年）
10月12日生まれ 37歳
- 世田谷区立駒沢保育園、駒沢小学校、
駒沢中学校、東京農業大学第一高等学校、
東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科卒
- JA東京中央会 元職員
- 衆議院議員 長妻昭 元秘書
- 公務員試験専門 喜治塾 元講師
- 2019年世田谷区議会議員選挙に初当選（4,491票）
- 現在、2期目
区民生活常任委員会
DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会



つるみけんごは
「認知症サポーター」です！

こんにちは。
この度はつるみけんご通信Vol.24をお手に取って頂き、誠にありがとうございます。

本通信では、令和5年世田谷区議会第3回定例会と令和4年度決算特別委員会における質問・質疑の内容をまとめました。お読み頂けましたら幸いに存じます。

※今回のチラシでは紙面の都合上、定例会で扱ったすべてテーマを載せることはできませんでした。掲載できなかった内容を含め、議場で質問の様子は右のQRコードよりご覧いただけます。



世田谷区議会
インターネット
議会中継

つるみけんごの
会議の録画映像を
ご覧いただけます。

質問 “子どもが夢を持てる世田谷の教育”をどのように実現していくのでしょうか？

～教育委員会の意識改革を進め、子どもが夢を持てる世田谷へ～

質問の要旨

私は、日々の教育の積み重ねこそが子ども達が明るい未来を描く、その礎になるものと考えます。子ども達が夢を持つということは、将来に希望を持つという事です。

以前、教育長は「子ども達が夢を持つためには、まず教員自身が夢を持たなければならない」と発言されました。

教員の多忙すぎる実態、なり手不足が叫ばれる中「教育委員会としてどのように教員が夢を持てる教育現場を作り、さらに教員が夢を持てる教育を『子どもが夢を持てる教育』へと転換・還元させていくのか」、教育委員会の基本的方針を問いました。

区の答弁の要旨

子どもの意欲的な学びの姿を引き出すことが、教員自らの目指す夢に近づくことである。

教員自身が探究的な学びの楽しさを実践することは、子ども達の探究心に火をつける授業の展開にもつながっていく。

今後より一層、子ども達へ多様な経験ができる機会を確保するとともに、子ども達が夢を持てる世田谷の教育基盤の実現を目指し、世田谷らしい教員研修を展開していく。

つるみけんごコメント

東京都の令和6年度採用の公立小学校教員採用選考の倍率は1.1倍です。教員のなり手不足は極めて深刻で、現場の先生方が夢を持てる教育環境の実現は急務です。同時に、ある調査(※)では将来に夢を持っている若者（17～19歳）の割合は、他の国では90%を超えている一方で日本だけが60.1%と低い現状も明らかとなりました。

こうした現状を踏まえ、今回の一般質問と決算質疑を通じ、まずは世田谷の教育現場を支える教育委員会自らが、世田谷の明るい教育の未来像を描き、夢を語れる組織に変わっていくことを求めました。

※(出所)日本財団

「18歳意識調査 第20回（国や社会に対する意識）」（2019年）

質問 認知症社会への取り組み、なぜ区として認知症検診を実施しないのでしょうか？

～早期発見と早めの相談のためにも認知症検診の公的制度化を～

質問の要旨

全国の自治体では認知症検診の無料化や健康診断に認知症検診を取り入れるなど、認知症社会への様々な取り組みが展開されています。

東京都は4年前から認知症検診の推進のため区市町村に助成する制度を開始し、23区の中でも多くの区が取り組みを進めているところですが、世田谷区ではいまだ区による検診事業が行われておりません。本年6月の定例会でこのことを指摘しました。

今回、改めて、区は認知症診断後の支援の充実を掲げながら、なぜ一方で検診の普及に後ろ向きなのか、並行して充実を図るべきと指摘し、区の考えを問いました。

区の答弁の要旨

ご指摘の認知症検診を含む今後の早期発見体制の充実にあたっては、医師会等の関係機関との協議を重ね、有効な体制の整備を図っていく。



つるみけんごコメント

今回の答弁では、「今後、医師会等の関係機関の皆様と協議し、体制整備を図ること」が表明され、検診の導入の実現に向け一歩前進しました。

一日も早く認知症検診の公的制度化が実現するように引き続き、取り組みます。

質問 窓口でのたらいまわしが増加。今後どのような改善を図るのでしょうか？

～区民をたらいまわしにしない、ワンストップサービスの実現を～

質問の要旨

本年5月実施の区民意識調査では、窓口での職員の応対について「印象が悪い」と回答された方のうち約4割が「たらいまわしにされた」ことを理由に挙げています。例年は2～3割であり、約1割の増加、結果として「たらいまわし」にあったと感じた区民の方の割合は過去最高となってしまいました。

たらいまわしゼロ、ワンストップサービスの取り組みを進めるために、今後、区として組織改正や人員配置、予算などの観点からどのような措置を取るのか、区の考えを問いました。



区の答弁の要旨

組織として連携して対応できる仕組み作りを検討していくなど相談の場における適切な人材の配置やその支援体制の拡充など全庁的にさらに具体的に検討を進めていく。

つるみけんごコメント

今回の質疑では、一昨年9月の決算特別委員会で、区が「たらいまわしのないワンストップサービスの実現に向けた取り組みを加速させていく」と表明していたにもかかわらず、区民の実感としてたらい回しが増加してしまった現状を踏まえ、今後の対応を問いました。

区の答弁では「支援体制の拡充など検討を進める」との回答に留まり、具体的、かつ根本的な解決策が見えませんでした。

今後も区民一人ひとりの困りごとや相談に丁寧に寄り添う、区民目線の窓口改革を進めるよう区に働きかけてまいります。

政治を志す若者・学生の皆様へ

私が初めて政治に携わったのは社会人2年目、サラリーマンをしながら休日にボランティアで政治家の方の活動をお手伝いさせて頂いた時でした。その後、転職し、衆議院議員ながつま昭さんの秘書として、政治の現場で様々な事を学ばせて頂きました。

私は現在、区議会議員2期目です。ぜひとも若い世代の方々に政治を肌で感じてもらいたい、これからの政治のあるべき姿をともに描いていきたいと考えております。

政治にご関心のある方のご連絡をお待ちしています。ともに「政治のあるべき姿」・「地域のあるべき姿」を考えていきましょう！

✉ kengo@k-tsurumi.net TEL.03-6322-0575



つるみけんご事務所

〒154-0003 東京都世田谷区野沢4-14-4

TEL.03-6322-0575

✉ kengo@k-tsurumi.net ☎ http://k-tsurumi.net

つるみけんご
日々の活動
発信中



Facebook



Instagram



Twitter



YouTube

